

企画提案書作成要領

1 注意事項

(1) 趣旨

本書は、「茶屋さくら通り周辺官民連携プラットフォーム構築等支援業務委託提案依頼用仕様書」に対する、提案者及び提案する業務の考え方、具体的実現方法の提案を求めるものである。

よって、提案者は企画提案書作成において特段の記載がなくても、本市が示す業務の内容に十分に留意し回答すること。

また、本市職員に作業が発生する場合は、本市職員の負担が最小限になるよう提案を行うこと。

(2) 企画提案書作成要領

- ① 企画提案書はA4両面印刷（長辺綴じ）とする。表紙・目次等を除き20ページ以内（A4用紙10枚）で作成すること。
- ② A4にて記載が困難な部分はA3でも構わないが、A4の大きさに折って綴じこむこと。なお、その場合はA3両面で4ページ分とみなす。
- ③ 作成に当たっては、別紙「評価基準表」の項目順序に従って記載すること。
- ④ 企画提案書には必ずページ番号を付番すること。
- ⑤ 印刷物については、各節ごとにインデックスをつけること。

(3) 企画提案書

「茶屋さくら通り周辺官民連携プラットフォーム構築等支援業務委託提案方式実施要領」のとおり、別紙「茶屋さくら通り周辺官民連携プラットフォーム構築等支援業務委託提案依頼用仕様書」及び別紙「評価基準表」に基づき、企画提案書を作成すること。

企画提案書については、1者1提案とする。

企画提案書を受け付けた後の追加及び修正は、原則認めない。

なお、「評価基準表」にある項目に即して、作成するものとする。

(4) 見積書

見積書作成においては下記に留意すること。

- ① 明細書の項目は、省略せずに内訳金額を記入すること。
一括の金額計上で中身が見えない記載方法としないこと。
- ② 契約締結に当たっては、見積書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって契約金額とするため、見積者（提案者）は消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載すること。

- ③ 見積りに際しては、芦屋市財務会計規則、芦屋市契約規則その他関係法令に従うものとするとともに上記提案依頼用仕様書を精読の上、見積書を作成すること。
- ④ 見積書の件名は、「茶屋さくら通り周辺官民連携プラットフォーム構築等支援業務委託」とし、宛先は芦屋市長宛とし、封入の上、提出すること。

(5) 提出書類

① 提出方法 下記提出先まで郵送又は持参すること。(郵送の場合は必着)

② 提出部数

(ア) 見積書 1部

(イ) 企業評価項目に関する確認書類 1部

(ウ) 企画提案書 正本1部、副本各7部及びCDによる電子媒体1式

③ 提出期限 令和5年6月12日(月)17時まで

④ 提出先 〒659-8501

芦屋市精道町7番6号

芦屋市 都市政策部 都市基盤室 道路・公園課(担当:小山)

電話 0797-38-2062

FAX 0797-38-2163

(6) 留意事項

提案内容については、本審査のヒアリングにおいて内容を再度確認するものとする。

その際に回答内容に食い違いがある場合は、評価において補正を行う場合がある。

なお、当該提案内容は提案書に提示した予定金額の範囲で提供されるものとし、追加費用は認めない。

2 提案内容

(1) 人員配置・連携体制について

業務ごとに専門的な人員が配置されているか。また、事業全体を一体的、かつ適正に進めるための統括・連携体制を記載すること。

(2) 業務の実施方針について

業務目的の実現に向けた基本的な業務実施方針を記載すること。

(3) エリアプラットフォームの形成支援について

エリアプラットフォームのあり方検討方法、構成員の候補者、運営や会議の開催方法を記載すること。記載にあたっては、以下の点を考慮すること。

- ・あり方検討については、合理的かつ効果的なプロセスを提案し、住民や関係者の様々な意見や考え方を幅広く聴取できるような工夫を提案すること。
- ・構成員については、業務の目的を達成するために、地域住民や関係する事業者など多様な主体で構成するよう提案すること。
- ・運営や会議の開催方法については、効率的な運営方法や、円滑かつ有意義に議論

ができる会議方法を提案すること。

(4) 未来ビジョンの策定支援について

未来ビジョンの検討方法やまちづくりへの関心を高める機会の創出の方法、専門人材の候補者、専門人材の意見聴取方法、社会実験の内容や方法、茶屋さくら通り協議会との連携方法を記載すること。記載にあたっては、以下の点を考慮すること。

- ・検討方法や機会創出の方法については、幅広く意見を聴取できる工夫と合わせて、まちづくりへの関心や機運を高められるようなアイデアや仕組みを提案すること。
- ・専門人材については、業務の目的を達成するために、関連する様々な分野の専門的な知見からアドバイスや意見を聴取できるよう候補者（複数名）を提案すること。
- ・社会実験については、エリアの回遊性向上や賑わい創出を目的とし、未来ビジョンを検討するための有効なデータや課題の抽出などが可能となるような内容を提案すること。

(5) 全体スケジュール

本業務の全体フローやスケジュール等をできる限り詳細に記載すること。

(6) その他

その他独自提案の提示があれば、できる限り詳細に記載すること。

以 上